

議会報告会報告書

令和4年2月16日

小田原市議会議長
大川 裕 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
井上 昌彦

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和3年12月21日（火曜日）午前9時30分 ～ 午前11時30分			
場 所	小田原市役所 議場ほか			
出席者	井上 昌彦	角田 真美	鈴木 敦子	荒井 信一
	池田 彩乃	清水 隆男	岩田 泰明	
参加人数	27名（早川小学校6年生児童25名、教諭2名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・児童が司会進行を行いながら、議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

<p>【質疑】何歳から議員になろうと思ったのですか。</p> <p>【回答】市議会の場合、25歳から立候補はできますが、私の場合は子どもの教育環境をもっと良くしたいと思い、46歳のときに志しました。</p>
<p>【質疑】冬休みはありますか。</p> <p>【回答】年に4回の定例会のほか、市役所以外の仕事や市民の声を聞いたり、他市の調査を行ったりしているため、冬休み等の特定の休みはありません。</p>
<p>【質疑】市民からの意見はどのように聞きますか。</p> <p>【回答】主に電話、郵便での手紙、メールの3種類です。</p>
<p>【質疑】当選できたのはどんな理由があると思いますか。</p> <p>【回答】公約を見て期待して下さった方がいることと、これまでの過程を見て「この人だったら」と選んで投票してもらった結果だと思います。</p> <p>分析は難しいが、自分が掲げたマニフェストに賛同してくれた方が多かったからだと思います。</p>
<p>【質疑】もし選挙に勝てなかった場合はどうしていたと思いますか。</p> <p>【回答】民間企業での役員職を続けていたと思います。</p>
<p>【質疑】一番大変だった仕事は何ですか。</p> <p>【回答】様々な市民の方からの提案にあたり、意見や方向性の違いでまとめきれないときが大変です。</p>
<p>【質疑】どんなときにやりがいを感じますか。</p> <p>【回答】市民の方の声を政策で実現できたときです。</p>
<p>【質疑】話し合いで言い争いになってしまうことはないのですか。</p> <p>【回答】色々な主張があるため、言い争いになりそうなこともあります。ルールに基づいた議論を進めています。</p>
<p>【質疑】給料はどれくらいですか。</p> <p>【回答】市のホームページでも公開されていますが、議員の場合は月に475,000円です。ただし、ここから保険料や年金などが引かれます。</p>
<p>【質疑】議員になるためにはどうしたらいいですか。</p> <p>【回答】勉強やスポーツなど、自分のやるべきことを頑張りながら、毎日を大切に生きていくと良いと思います。</p>
<p>【質疑】議場のあるこの市役所はなぜ作られたのですか。</p> <p>【回答】市民の皆さんの生活をより良くするためです。市役所の中には水道や学校、文化、福祉など、皆さんの生活に関係する仕事を行う部署が数多くあります。</p>
<p>【質疑】傍聴席にはいつもどれくらいの人数が来られるのですか。</p> <p>【回答】少ないときは3名くらいのことありますが、会議の内容への関心度の高さによって変わります。また、市役所まで来られない方に向けて、YouTubeなどで配信も行っています。</p>